

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

《月報》
平成 23年 2月
(第5 ~ 8週)

発行年月日：平成23年(2011年) 3月23日
発行：滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 23年				平成 22年 ^{*1}		感染症 類型	疾 病 名	平成 23年				平成 22年 ^{*1}	
		1月		2月		1～12月				1月		2月		1～12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	四類	鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0		ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	0	0	0	0	133
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	1	0	4
	ペスト	0	0	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0	0
ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	鼻疽		0	0	0	0	0	0	
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	2		ブルセラ症	0	0	0	0	0	2
	結核	25	1,465	21	1,987	252	26,704		ベネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0		ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0		発しんチフス	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0	0	0	0		ボツリヌス症	0	2	0	0	0	1
三類	コレラ	0	0	0	0	0	10		マラリア	0	2	0	4	0	76
	細菌性赤痢	0	6	0	24	2	235		野兔病	0	0	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	0	57	0	63	66	4,131		ライム病	0	0	0	0	0	13
	腸チフス	0	0	0	1	0	32		リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
四類	パラチフス	0	3	0	2	1	21		リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0
	E型肝炎	0	3	0	7	0	66		類鼻疽	0	0	0	0	0	4
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0		レジオネラ症	3	44	0	37	10	751
	A型肝炎	0	31	0	43	3	346		レプトスピラ症	0	1	0	0	0	20
	エキノコックス症	0	2	0	3	0	17	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	五類	アメーバ赤痢	1	58	0	52	7	845
	オウム病	0	0	0	1	1	11		ウイルス性肝炎	1	21	0	17	3	222
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0		急性脳炎	0	28	0	38	1	241
	回帰熱	0	0	0	0	0	1		クリプトスポリジウム症	0	1	0	1	0	16
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0		クロイツフェルト・ヤコブ病	1	5	0	6	2	171
	Q熱	0	0	0	0	0	2		劇症型溶血性 レンサ球 菌感染症	0	18	1	23	3	127
	狂犬病	0	0	0	0	0	0		後天性免疫不全症候群	1	84	0	121	1	1,549
	コクシジオイデス症	0	1	0	1	0	1		ジアルジア症	0	3	0	9	1	80
	サル痘	0	0	0	0	0	0		髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	7
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0		先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0		梅毒	0	46	2	46	9	621
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0		破傷風	1	3	0	1	0	106
	炭疽	0	0	0	0	0	0		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0
	チクングニヤ熱 ^(*)	-	-	0	3	-	-		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	5	0	3	2	121
	つつが虫病	0	27	0	7	2	406		風しん	0	7	0	9	5	89
	デング熱	0	9	1	8	2	245	麻しん	0	28	0	37	1	455	
東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	(※)：感染症法の一部改正(平成23年2月1日施行)により、2月からの集計。-：未集計								

^{*1} 感染症発生動向調査暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年3月5日現在)

滋賀県における全数報告感染症の概要 (2月)

< 結核 > 21名

性別：男性 16名、女性 5名
類型：患者 17名
無症状病原体保有者 4名
病型：肺結核 12名
その他の結核 5名
無症状病原体保有者 4名

< デング熱 > 女性 3歳

推定感染経路は蚊からの感染で、推定感染地域は、インドネシアです。

< 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 >

男性 65歳
推定感染経路は不明で、推定感染地域は日本国内です。

< 梅毒 > 男性 30歳、35歳

推定感染経路は不明および針等の鋭利なものの刺入による感染で、推定感染地域は日本国内です。

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といいます。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

2月の概要

<インフルエンザ>

第5～8週(1/31～2/27)の定点当たり患者数は、減少傾向を示すものの15.45～28.19で推移していました。第4週(1/24～1/30)に発令されたインフルエンザ警報は、第5～8週の間、継続して県内全域に発令されていました。保健所管内別の発生状況では、第8週(2/21～1/27)に大津市および高島保健所管内の定点当たり患者数が10.00(警報終息基準値および注意報発生基準値)未満となりました。

<小児科定点疾患>

今月増加した疾患は、咽頭結膜熱(プール熱)、A群溶レン菌咽頭炎、手足口病およびヘルパンギーナで、他の疾患では減少していました(各疾患の週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

各疾患の保健所管内別発生状況では、RSウイルス感染症は高島、咽頭結膜熱は草津、水痘は東近江、伝染性紅斑は甲賀、ヘルパンギーナは高島および流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は彦根からの報告が多くなっていました。

また、保健所管内別の警報・注意報発生状況は、下記のとおりです。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月より減少し、急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。基幹定点疾患では、無菌性髄膜炎は先月より減少し、今月の報告はありませんでした。マイコプラズマ肺炎は横ばいで、細菌性髄膜炎およびクラミジア肺炎の報告はありませんでした。

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システムによる警報・注意報発生状況(平成23年第5～8週)

疾 患 名	5週 1/31～ 2/6		6週 2/ 7～ 2/13		7週 2/14～ 2/20		8週 2/21～ 2/27		警報発生基準値 警報開始基準値 警報終息基準値		注意報 基準値
インフルエンザ	大津市	大津市	大津市		大津市		草津		30.00	10.00	10.00
	草津	草津	草津		草津		甲賀				
	甲賀	甲賀	甲賀		甲賀		東近江				
	東近江	東近江	東近江		東近江		彦根				
	彦根	彦根	彦根		彦根		長浜				
	高島	高島	高島		高島						
水痘							東近江		7.00	4.00	4.00
伝染性紅斑(リンゴ病)	甲賀	甲賀	甲賀		甲賀		甲賀		2.00	1.00	-
	長浜	長浜									
ヘルパンギーナ							高島		6.00	2.00	-
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	彦根				彦根				6.00	2.00	3.00

空白部分については、警報発生基準値および注意報基準値に該当する保健所管内はありません。

：警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。：注意報開始基準値を超えています。

数字はすべて定点当たり患者数(人)です。-：注意報の対象外という意味です。

<各定点の対象疾患>

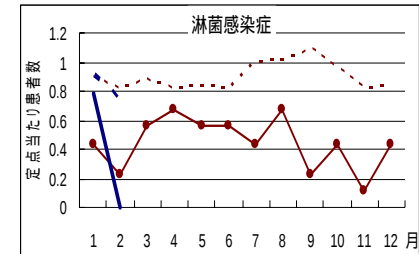
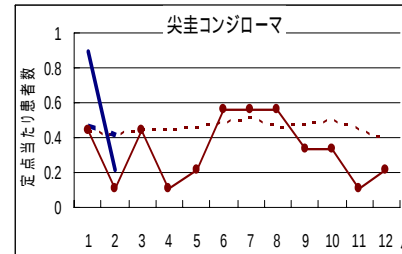
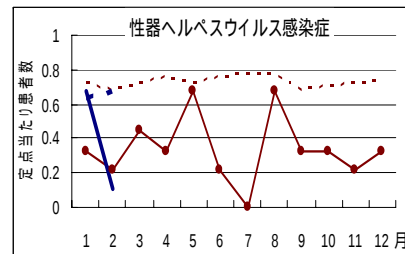
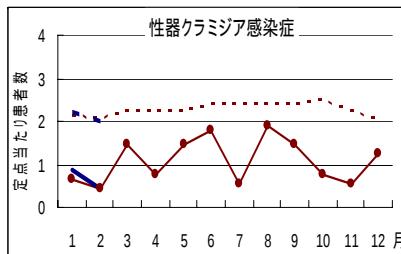
定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

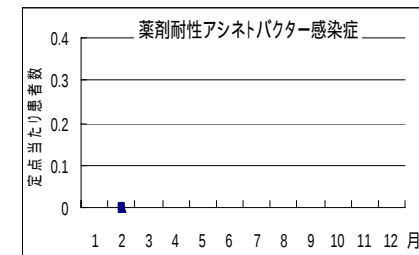
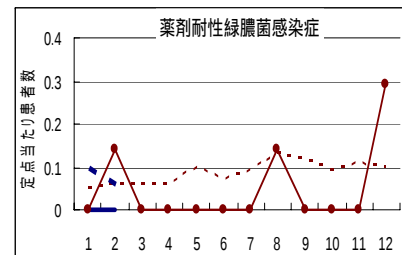
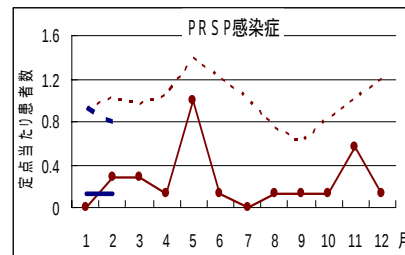
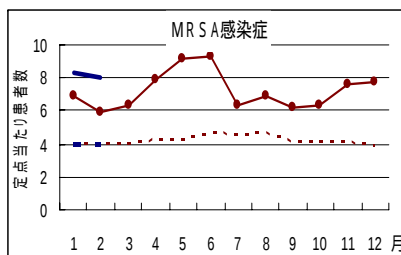
3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成 23 年 2 月)

疾患名	区分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
性器クラミジア感染症	報告数	8	4											12
	定点当たり患者数	0.89	0.44											1.33
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	6	1											7
	定点当たり患者数	0.67	0.11											0.78
尖圭コンジローマ	報告数	8	2											10
	定点当たり患者数	0.89	0.22											1.11
淋菌感染症	報告数	7	0											7
	定点当たり患者数	0.78	0											0.78
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	報告数	58	56											114
	定点当たり患者数	8.29	8.00											16.29
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	報告数	1	1											2
	定点当たり患者数	0.14	0.14											0.28
薬剤耐性 緑膿菌感染症	報告数	0	0											0
	定点当たり患者数	0	0											0
薬剤耐性 アシネトバクター感染症 ^(*)	報告数	-	0											0
	定点当たり患者数	-	0											0

* : 感染症法の一部改正(平成23年2月1日施行)により、2月からの集計。 - は未集計。



H22 滋賀
● 全国
.....



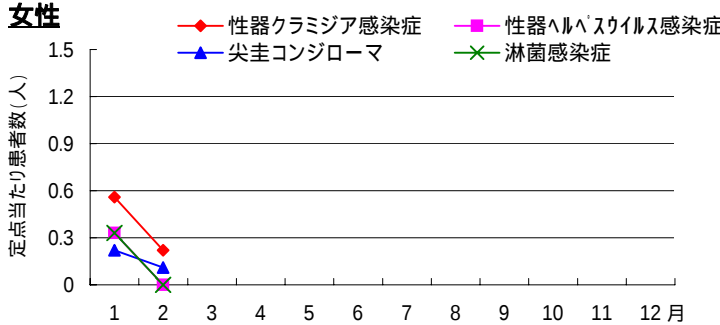
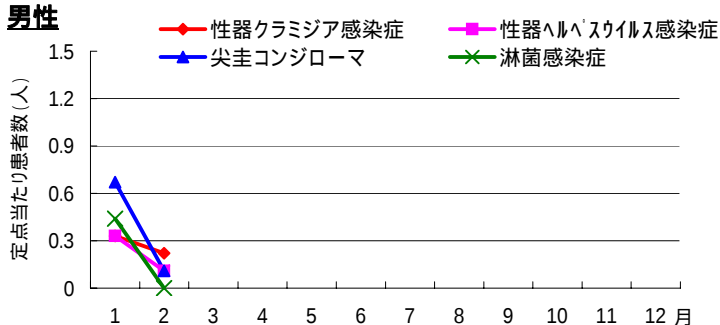
H23 滋賀
— 全国
.....

* 平成23年2月のデータは、全国、滋賀県ともに定点当たり患者数は 0 で、■ として表示しています。

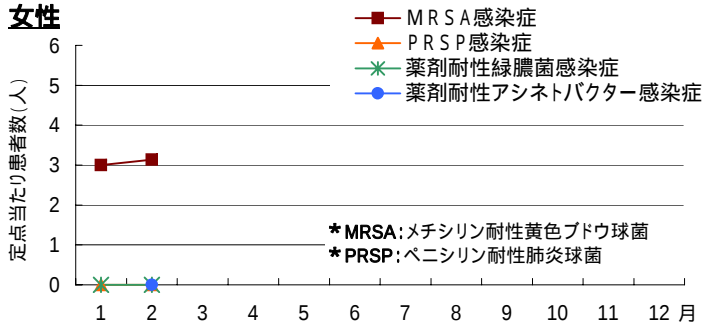
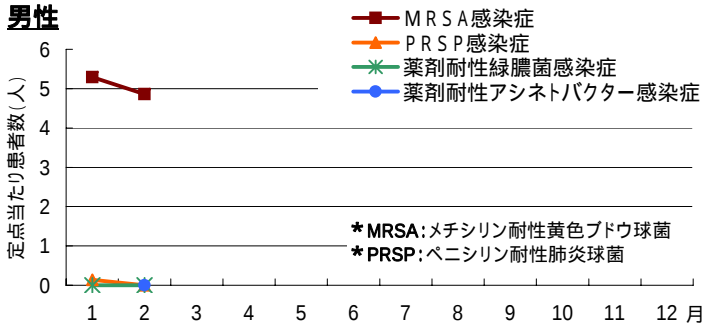
MRSA: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
PRSP: ペニシリン耐性肺炎球菌

滋賀県における発生状況を先月と比較すると、大部分の感染症で減少し、PRSP感染症(ペニシリン耐性肺炎球菌感染症)では横ばいです。また、薬剤耐性緑膿菌感染症および薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告はありません。

性感染症定点における疾患別発生状況



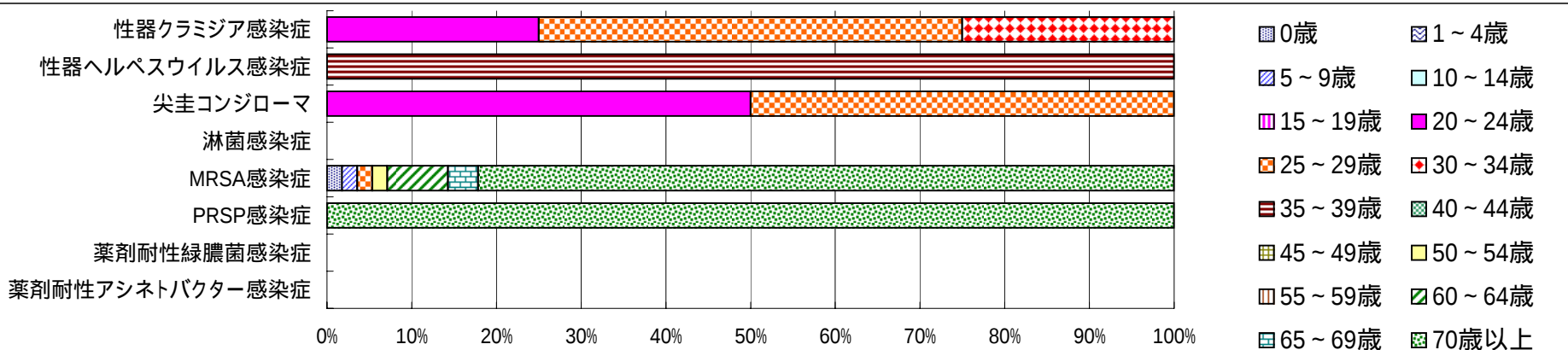
基幹定点における疾患別発生状況



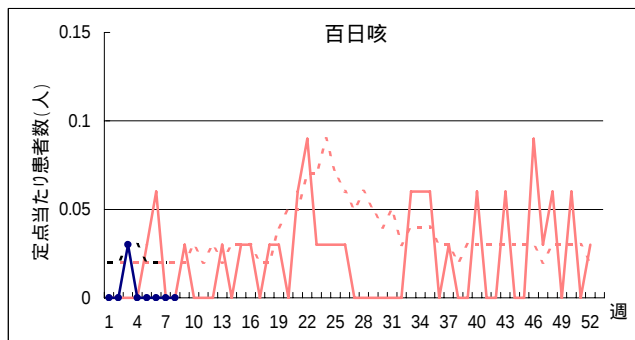
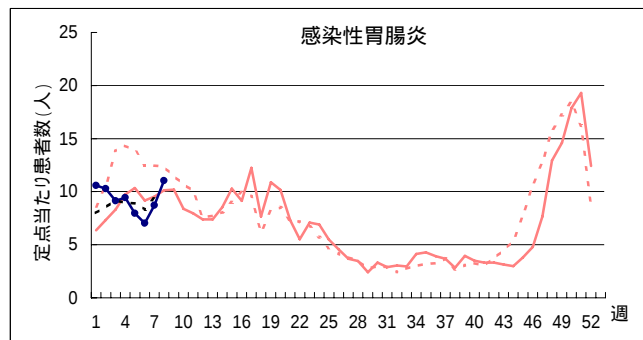
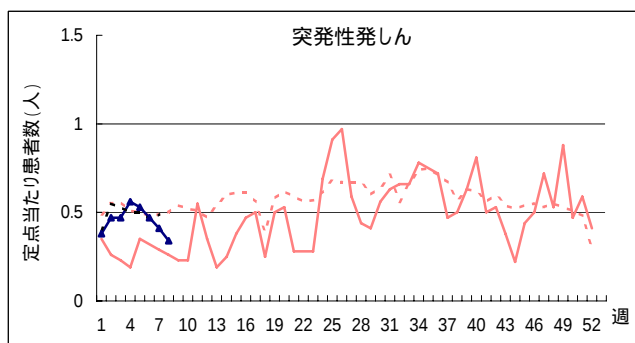
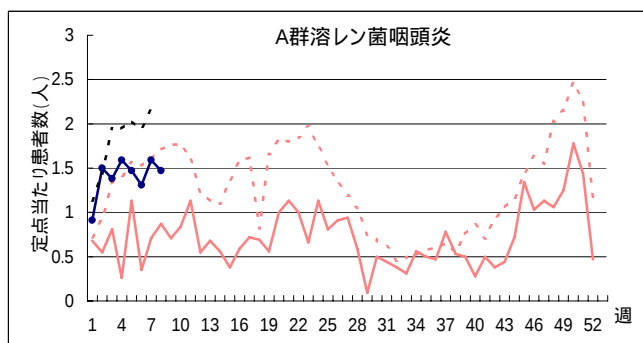
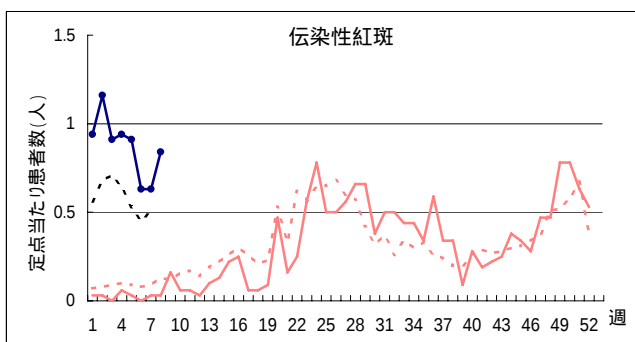
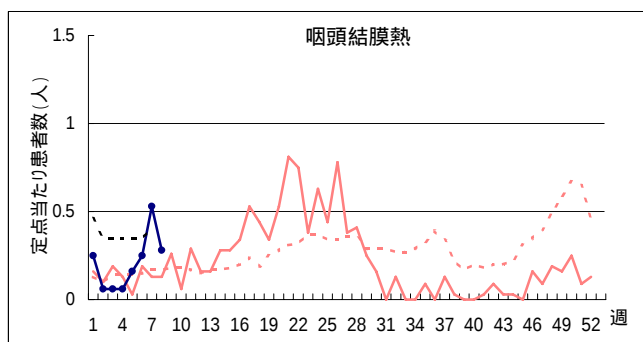
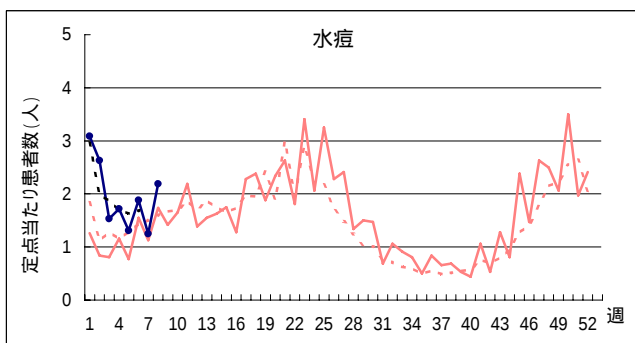
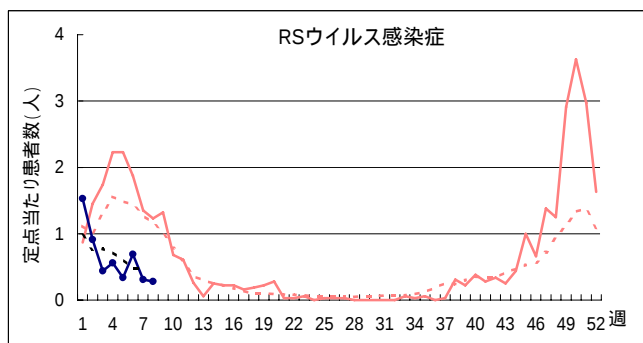
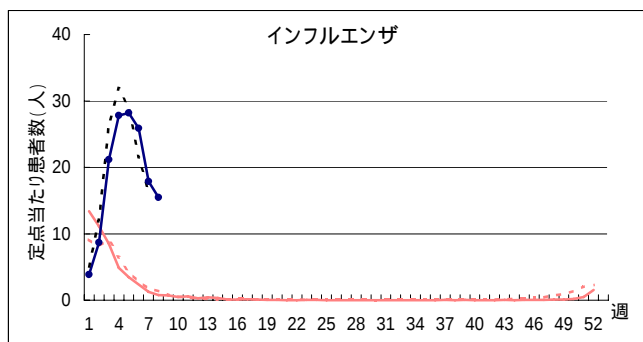
性感染症定点および基幹定点における各疾患の月別・性別発生状況は、左記グラフに示すとおりです。性感染症定点疾患の4疾患では、男女ともに先月より大幅に減少しています。基幹定点疾患のMRSA感染症では、男性で微減となり、女性で微増となっています。

また、各疾患の年齢別発生状況は、下記グラフのとおりです。性感染症定点疾患では、すべて20～39歳からの報告です。特に、女性では、全員20～29歳からの報告です。男性では、20～39歳からの報告となっています。

疾患別・年齢別発生状況 (H23.2)



疾病別定点当たり患者数(平成23年第1～8週、H23.1.3～H23.2.27)



疾病別定点当たり患者数(平成23年第 1～8 週、H23.1.3～H23.2.27)

